

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員10名に対し、 指導訓練室が40㎡以上確保できているか	8			道具置き場などを配置換えし、より広いスペースを有効活用できるようになった。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			必要な人員は満たしているが、より充実した支援を提供するため、配置数にはさらに考慮していきたい。
	3	事業所の設備等について、こどもが怪我をしないよう適切に配慮がされているか	8			危険性のあるものはほとんど別の場所に移し、必要最低限の物にするよう心掛けている。
	4	設備等へ安全を配慮した措置がなされているか？（電灯やガラスの飛散防止・柱へ衝撃吸収材の取付・階段手摺など）	8			電灯にはLEDでしっかりカバーがついており、柱や怪我をしそうな箇所にはクッションカバーなどを付けて安全に留意している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	8			
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			公開している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			研修では全ての職員が意見を出しやすい環境を整えている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			担当職員が6ヶ月に1回アセスメントを行い、計画書を作成している。計画書作成の際にも会議を行い、常に全職員が確認できるようになっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8			ミーティング時に話し合い常に新しいプログラムを提供できるように心掛けている。
	13	活動場面ごとに課題を決め支援しているか	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		基本的には集団活動のみである。
	15	支援開所前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			前回の支援状況をふまえ、より良い支援になるよう心掛けている。
	16	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	8			気付いた点がある際は都度共有している。送迎時などの様子も共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	7	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		現在会議自体はあまり行われていないが、行われた際は極力参加できるようにしたい。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		学校のHPなどで年間計画を確認し、送迎時の職員についても顔写真付きで名前を伝えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1		今のところ該当する児童は受け入れていないが、受け入れる場合はしっかりと体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	2		就学前の関係機関との情報共有はないが、就学後間もないころは学校とは密に共有していた。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		今まで学校を卒業した利用者がいない。該当児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			現在の社会情勢のため研修自体は限られているが、今後連絡があれば都度研修や助言を受け対応していきたい。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1		保護者からのニーズに応じて適宜対応していきたい。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に書面を用いて説明している。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			モニタリング時だけではなく、送迎時などのお子様の引き渡し時に時間の許す限り対応している。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			その様な場合はすぐに管理者に報告し、迅速な対応をするよう心掛けている。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		定期的にブログを更新し普段の療育はもちろんイベントなどの情報も発信するよう努めている。
	32	個人情報に十分注意しているか	8			
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2		まだ招待するようなイベントはないが、近隣住民やテナントなどには、事業内容を説明し良好な関係を保てるように努めている。
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			契約時に説明しており、希望があればいつでも閲覧可能になっている。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年に2回以上行っており、WEB上でも周知している。

非常時等の対応	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			定期的に虐待防止委員会を開催し、共有している。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	7	1		基本的にはないので分からない。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			医師の指示書はないが、保護者からの情報で全職員に周知徹底している。
	40	ヒヤリハット記録を作成して事業所内で共有しているか	8			